

## 第12章 施策の実施計画の策定・実施

## 第1節 施策の実施計画

広島城跡におけるこれまでの各種施策の取組状況、第6章で述べた大綱と基本方針並びに第7章～第9章及び第11章で述べた各分野の方向性と方法に基づき、保存管理、活用、整備及び運営・体制の整備について、計画的に実施すべき施策の項目と実施時期を以下に示す。

各施策の実施時期については令和6（2024）年度～令和10（2028）年度の5年間の第1期、令和11（2029）年度～令和15（2033）年度の5年間の第2期、令和16（2034）年度～令和25（2043）年度の10年間の第3期とし、それぞれを施策実施の目安として短期・中期・長期と設定する。事業・施策の進捗、組織体制や予算の状況などを踏まえ、必要に応じて適宜見直しを行うものとする。また、各項目の詳細や表に記載のない事項については、今後改定予定の整備基本計画の策定過程において、十分な議論と検討を踏まえて位置づけていくものとする。

表12-1 実施計画（現時点での予定）

区分	項目	実施時期		
		R6～R10 第1期	R11～R15 第2期	R16～R25 第3期
		短期	中期	長期
全体	整備基本計画の改定	■		
保存管理	日常的な維持管理	■	■	■
	毀損箇所等の把握	■	■	■
	応急措置等の対応	■	■	■
	現状変更等の適切な運用	■	■	■
	追加指定等に向けた取組	■	■	■
	史跡の保存に係る調査研究	■	■	■
	非常災害時の維持管理等への対応	■	■	■
	計画的な修理・整備			
	各種調査の検討と実施	■	■	■
	修理・整備方法の検討		■	■
	計画の検討			■
	実施			■
活用	調査研究成果等の公開	■	■	■
	学校教育・社会教育との連携	■	■	■
	観光資源としての活用	■	■	■
	史跡・都市公園としての活用	■	■	■



## 第2節 地区ごとの施策と調査・研究

主に第7章と第10章において、地区ごとに実施が予定されている取組や施策を整理し、これらの検討に先立って必要となる基礎的情報を取得するための調査・研究等について述べた。以下ではその項目と概要について地区ごとに示す。

なお、ここで示した内容はあくまでも現状で想定される優先度及び体制に基づき整理したものである。また、ここに挙げた以外にも各種調査・研究が必要となることも予想される。これらについては今後、保存活用会議等の中で有識者を交えた十分な検討を基にその実施手法や体制について定めていくものとする。

表12-2 地区ごとの施策（現時点での予定）

地区	項目と概要	実施時期（目安）		
		R6～R10	R11～R15	R16～R25
		第1期	第2期	第3期
		短期	中期	長期
本丸上段	石垣基礎部等の発掘・整理（天守台/走櫓/小天守台周辺）	■		
	平面確認調査・整理（東/南小天守台周辺）	■		
	石垣測量調査	■		
	石垣カルテの作成	■	■	■
	天守の木造復元に向けた調査・検討等	■	■	■
本丸下段	石垣基礎部の発掘・整理（天守台周辺）	■		
	石垣基礎部の発掘・整理（走櫓/小天守台周辺）	■		
	平面確認調査・整理（天守台周辺）	■		
	平面確認調査・整理（東/南小天守台周辺）	■		
	平面確認調査・整理（保護層の現状確認）		■	
	石垣測量調査	■		
	石垣カルテの作成	■	■	■
二の丸	石垣測量調査	■		
	石垣カルテの作成		■	■
史跡 外周部	石垣測量調査	■		
	石垣カルテの作成			■
	平面確認調査・整理（歴史館予定地）	■		
	平面確認調査・整理（北西部中堀石垣）		■	
	平面確認調査・整理（その他公園区域）			■
旧広島城 範囲	改変経緯・記録類の整理	■		
	機会をとらえた発掘調査の実施	■	■	■

